

敬老会・金婚式式典を開催

9月14日(日)、コミュニティセンター城里、桂公民館、七会公民館の3会場で敬老会が開催されました。今年の招待者は、町内にお住まいの75歳以上の方々3、429人です。

また、金婚式典もあわせて開催され、結婚50年の金婚を迎える17組のご夫婦をお祝いしました。

式典の後には、シルバリーハビリ体操や茨城県警による高齢者の交通事故防止講話、中学校吹奏楽部の演奏が行われ、楽しいひとときを過ごしました。皆さんこれからもどうぞお元気で、長生きしてください。

敬老会にあわせ、七会公民館にて、町交通安全母の会による「高齢者事故防止交通安全キャンペーン」が行われました。

式典終了後に会場から出てきた高齢者に反射板などの啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。



七会地区



桂地区



常北地区

町の長寿者紹介 (男性)

(敬称略・平成20年9月1日現在)

氏名	年齢(生年月日)	
栗林 三次郎	102歳(明治39年4月生)	上青山
高井 良男	100歳(明治41年7月生)	御前山
永山 喜之	99歳(明治42年4月生)	小坂
桐原 四郎	98歳(明治42年10月生)	石塚
檜山 武夫	97歳(明治44年8月生)	石塚
鯉淵 國彰	96歳(明治44年9月生)	石塚
堀邊 経廣	96歳(明治44年12月生)	阿波山
阿久津甲一	96歳(明治45年1月生)	高久
川野邊進	96歳(明治45年4月生)	上阿野沢
仲根 邦彦	96歳(明治45年5月生)	上入野

町の長寿者紹介 (女性)

(敬称略・平成20年9月1日現在)

氏名	年齢(生年月日)	
川井 よし	104歳(明治37年3月生)	下古内
加藤木はな	104歳(明治37年4月生)	下坏
長山 さく	102歳(明治39年6月生)	那珂西
廣木 ミツエ	101歳(明治39年9月生)	石塚
廣木 あき	101歳(明治40年3月生)	粟
所 ちい	101歳(明治40年4月生)	上阿野沢
寺門 はつ	100歳(明治41年2月生)	那珂西
鈴木 ハツ	100歳(明治41年6月生)	下赤沢
金長 あさ	100歳(明治41年7月生)	下坏
綿引 喜代子	99歳(明治41年10月生)	上入野
安島 ちる	99歳(明治41年10月生)	阿波山

公民館美術展作品募集のおしらせ

平成20年度「公民館美術展」を次のとおり開催します。展示作品を募集しますので、ご応募ください。出品申込みは公民館ごとに受け付けます。なお、応募用紙は各公民館窓口でお受け取りください。たくさんのご応募をお待ちしています。

【七会公民館】 TEL 0296-88-3210

会期 11月1日(土)・2日(日) 応募期間 10月15日(水)~24日(金)

【桂公民館】 TEL 029-289-2220

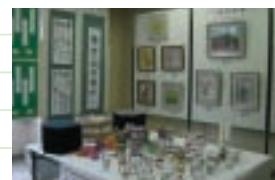
会期 11月15日(土)・16日(日) 応募期間 10月15日(水)~24日(金)

※坏地区公民館(開館日→火曜・金曜・日曜)

岩船地区公民館(開館日→水曜・金曜・日曜)でも受け付けます。

【常北公民館】 TEL 029-288-5575

会期 11月22日(土)・23日(日) 応募期間 10月29日(水)~11月7日(金)



七会公民館



桂公民館



常北公民館

第7回ネイチャークッズ特派員 北海道キリタツプ探検隊に入隊

古内小学校4年生の清水伸一郎くんが、ネイチャークッズ特派員として北海道キリタツプ湿原の自然体験エコツアーに参加しました。

これは、WWF(世界自然保護基金)ジャパンと株式会社キリタツプが小学生を対象に「大切にしたい！自然と生き物」をテーマにした作文を募集し、優秀な作文として選ばれた子どもたちをツアーに招待するというものです。

清水くんは小学3年生のときから「総合的な学習の時間」で国蝶オオムラサキの飼育活動に取り組んできました。その中で「ワクワク、ドキドキ」した感動体験や「不思議だなあ」と感じたこと、国蝶オオムラサキを守るためにはどうしたらよいかなどを作文にまとめて応募し、見事ネイチャークッズ賞に選ばれました。

ネイチャークッズ特派員として7月27日から3泊4日間、北海道キリタツプ湿原の自然体験エコツアーに招待された清水くんは、日本で3番目に大きなキリタツプ湿原を訪ね、湿原を探検したり、地元の人達の暮らしや食生活を体験しました。清水くんは「とても楽しかった。また行ってみたい」と笑顔で感想を話していました。



エコツアーでの清水君

高齢者叙勲(旭日単光章) 受章おめでとうございます

石川亮さん(塩子在住)が、米寿を迎えた各界の功労者に対して贈られる「高齢者叙勲」で旭日単光章を受章されました。

石川さんは、昭和46年4月に旧七会村議会議員に当選以来、4期16年にわたり地方自治発展のためご尽力されました。

今回の受章にあたり、「長年にわたり、地域の皆さんのご指導とご協力を頂いた賜であると深く感謝いたしております。」と喜びを語られました。



第3回介護予防サポーター養成講座

9月2日(火)、コミュニティセンター城里にて第3回介護予防サポーター養成講座が開講されました。

講座では地域包括支援センター保健師から現在の城里町の高齢化率や高齢者施策等について説明。続いてNPO法人認知症ケア研究所代表理事六角僚子氏による「愛と知恵で支える『認知症ケア』」と題した講演では、「認知症」は「病気」であると認識し、相手の立場に立つて介護にあたる大切だとしたうえで、負担の大きい家族への傾聴・声かけを行い、地域全体で介護する人・される人をサポートしていくことの重要性を訴えました。

最後に行われた現役介護職員で構成される劇団「いきり」による寸劇では、認知症の方との接し方をわかりやすく紹介。ちよつと言いつつ方を変えたり、機転をきかせることで、スムーズにコミュニケーションがはかれることを知り、参加者たちは「なるほど」と感心していました。



エコライフ推進フォーラム

8月27日(水)、コミュニティセンター城里にて「エコライフ推進フォーラム」(城里町地球温暖化防止活動推進委員主催)が開催されました。

フォーラムでは、「あなたは城里町のよさ(環境)を知っていますか?」をテーマに、地球温暖化防止活動推進委員の阿久津一成さんが中心となって進行。地球温暖化防止に向けた取り組みが発表されました。野鳥観察や林業体験を通して、城里町七会地区の豊かな自然を再認識する七会東小学校6年生の総合学習の時間の取り組み。森林づくり地域リーダー研修に参加し得た知識を活かして、自動車研究所近辺の下草刈りやソメイヨシノ・山桜の植栽などを行っている古内森林を守る会の取り組み。年間を通して小学生の稲作体験や花いっぱい運動、環境調査など、子どもから高齢者まで地域全体で様々な環境保全への取り組みを行っている上坪自治会の「農地・水・環境保全向上対策事業」。主婦の目線から廃食用油を利用した石けん・キャンドルづくりを行っている町商工会女性部の取り組み。フォーラムに参加した細谷光徳さん(上青山)は、上坪の活動について、「子どもから高齢者まで3世代にわたって活動しているのはすばらしい。子どもには小さいうちから環境問題への関心を持たせることが大切であると思う。」と述べました。そのほかにも参加者で活発な意見交換がなされ、ますます環境問題への関心が高まり、有意義なフォーラムとなりました。



ウィークエンドスクール…星空観察会

9月6日(土)、ふれあいの里「天文台」で星空観察会が行われました。

参加した町内の小学生と保護者18人は、講師の中川義通さん(ふれあいの里天文同好会会員)やふれあいの里職員の指導のもと、天体望遠鏡で秋の夜空を観察しました。2本の縞模様美しい木星やダイヤの輝きのベガ、二重星(黄と青のコントラスト)のはくちよう座のアルビレオなどを観て、参加者は「きれい!」と歓声をあげていました。

観察後は中川さん手製のプラネタリウムを使った星座の説明を聞き、星の神秘的な世界に思いをはせていました。



ホームヘルパー3級を取得

町社会福祉協議会主催によるホームヘルパー(訪問介護員)3級養成講座が、夏休み期間を利用して開講され、中学生15人、一般生7人の合計22人が参加しました。

7月13日の開講式から17日間、計60時間のカリキュラムを受講。普通救命講習では、人工呼吸・AED操作の方法など、実践的な実習も経験しました。8月31日(日)に行われた閉講式では、参加者全員が修了証を取得。修了生たちには、ボランティアや福祉の場での活躍が期待されます。



3級ホームヘルパー修了式

著書「重盛眠る小松寺」を寄贈

町内在住の山崎洋一さんより、ご自身が作成した「重盛眠る小松寺」と題した小冊子と、「悠久の小松寺」・「小松ふれあいた鼓」の2曲が収録されたCDが寄贈されました。

山崎さんは小松寺にある平重盛の墓について興味を持ち、重盛と小松寺について調べ始め、その内容を1冊の本にまとめました。歴史の教科書にも出てくる偉人が小松寺に眠っていることは意外と知られておらず、興味深い内容となっています。

寄贈された資料はコミュニティセンター城里図書室で閲覧できます。



コミュニティセンター城里図書室読み聞かせ会

8月10日(日)、コミュニティセンター城里図書室にて読み聞かせ会が行われました。かみしばいや大型絵本の物語に子供たちは聞き入り、お話とお話のあいだには歌を歌ったりして楽しみました。

また、帰りにはお土産の手づくりバッジが配られました。読み聞かせを行ったのはボランティア団体「あすなる」で、毎月第2、第4土曜日に桂図書館で定期的に行っています。



新米コシヒカリを寄贈

9月8日(月)、JA水戸より新米コシヒカリ240kgが寄贈されました。

JA水戸では、食農教育(食育)・地産地消促進に取り組みの一環として、JA水戸管内の小学生に地元の米を食べてもらおうと寄贈していただきました。

米は各小学校に配られ、給食の時間などに子どもたちに振る舞われる予定です。



町内各地区で夏祭り

7月下旬から8月にかけて町内各地で夏祭りが行われました。

8月23日(土)には、青山小学校において、青山学区区民の会主催の「青山ふるさとまつり」が開催され、盆踊りや抽選会など、にぎやかなイベントが行われました。恒例となったよさこいソーランの発表では、町福祉作業所TUKUSI・輪を広げる会、結海衆のほか、青山小学校4年生が踊りを披露。今年初めてよさこいソーランを踊った青山小4年生の児童たちはボランティアの方に指導を受け、朝や休み時間を利用して練習し、祭りでは立派なよさこいソーランを踊り、来場者から大きな拍手をあげました。

盆踊りにも多数の方々が参加し、にぎやかな夏祭りとなりました。



青山ふるさとまつり